

校長通信

第7号 令和6年12月16日

オーストラリアで SNS 禁止

オーストラリア議会で、16歳未満の子供がInstagramやTikTok、X、facebookなどのSNSを使えないようにする法案が可決しました。SNS上でいじめが原因で子供が亡くなる事態を受けて、法律で規制することになったそうです。

違反をした場合は、事業者に日本円で最大約49億円の制裁金を科すとのことですが、子供や保護者への罰則はありません。ちなみにYoutubeは学習に役立つ点も多いため規制の対象にはなっていません。

SNSの問題については、校長通信でも何度か取り上げています。興味ある動画ばかり見続けてしまって、拒食症になったり、誤った性別自認を助長させたりするケースもあるそうです。今後、日本でも議論が活発化していくでしょう。

来年度、「SNSの規制についてあなたの意見を述べなさい」などと小論文で出題する大学も多くなると思われますので、今から意見をまとめておくといよいでしょう。



新聞同好会〇〇君に逆取材

いつもは新聞同好会で取材する立場の〇〇君に、今回は取材される立場になってもらいました。話題は模試（11月実施総合学力テスト）の結果です。

Q 国語と歴史総合・日本史探究が特進も含め学年1位と聞きました。どのように勉強しているか聞かせてください。

A 国語が良かったのは、おそらく新聞局の活動をとおして文章を書く力が自然に身についたからだと思います。文章を書く中で、説得力ある構成を考えたり、論理的な文章にするため接続詞を意識したりするようになりました。おかげで現代文の選択問題では、迷いなく正解を選ぶことができました。古文は学校で買った単語帳で勉強しただけです。模試のために勉強したわけでないで、結果について自分でも驚いています。

Q 英語も偏差値50を超えていますが、どのように勉強しましたか。

A 国語と同様に模試のために勉強はしていません。行廣先生の「英語塾」で英検の学習を継続したことが役に立ちました。リスニングの傾向は英検と似ていましたし、問題のパターンも読めるようになり、こんな話だろうという予測ができるようになりました。長文から手を付け、最後に基礎問題で終わるといった、時間配分の意識も身につきました。

英作文の問題を見逃してしまったことが残念です。気が付いた時には、時間切れでした。

Q 入学早々の校長面談で、英語が苦手と言っていました。

A 英語塾のお陰で克服できました。2級は合格したので、今度準一級を受験します。

Q 歴史総合についても教えてください。

A 授業でやったところがそのまま出ました。定期テストの範囲です。1年の時に習ったこともぼんやりと覚えていました。知っていることが半分くらい出題されたという印象です。飛躍した問題はないので、教科書の内容を理解していれば十分だと思いました。

人によって適した勉強方法があります。〇〇君にとっては、国語は新聞局、英語は英検、歴史は授業というのがはまったのかなと思います。このインタビューをとおして、授業を中心に据えた学校の教育活動だけで伸びるもんだなと改めて感じました。

